

CSR 調達方針

Rev	日付	履 歴
1.0	2021年11月1日	新規作成・制定
1.1	2022年6月30日	構成変更

檜山工業株式会社
生産統括本部
調達部

CSR 調達方針

榎山工業株式会社
生産統括本部 調達部

榎山工業株式会社及びグループ会社（以下、「榎山工業グループ」と言います）は、市場やニーズの変化に対応するためにあらゆる業務のスピードアップを推進し、オープンで自由な企業活動を通じて、国際市場において優れた製品、サービスを提供することにより、企業の社会的責任を果たします。

調達活動においては、共存共栄の精神のもと、法令、社会的規範および環境保全に配慮すべく、下記 6 項目を榎山工業グループ CSR 調達方針として定めます。

1. 人権、労働安全衛生

多様な個性と価値観を受け入れ共働する社会を目指し、すべての人々の基本的人権を尊重し、労働環境および安全衛生の整備を行います。具体的には、児童労働禁止、強制労働禁止、あらゆる差別禁止、団結の自由の権利の尊重、団体交渉権の尊重、過剰労働時間を削減すること、最低賃金を上回ることなどです。

2. 環境、グリーン調達

持続可能な社会を実現するため、環境保全と資源の有効活用に取り組むと共に、環境に配慮した製品を社会に提供します。環境保全とは、生物多様性の保全、気候変動に大きな影響を持つとされる温室効果ガス（CO₂ 等の GHG）の削減、廃棄物の削減、土壌・大気・水質の汚染防止などのことです。資源の有効活用とは、水資源の使用量削減、熱エネルギー資源の節約などのことです。関連して榎山工業グループはグリーン調達ガイドラインを制定し、製品含有化学物質管理を行い、法令（基準・規格）に適合した部材の調達を行います。

3. 製品安全性

国際市場において競争力があり、良質で安全な製品・サービスを提供します。

4. BCP（事業継続計画）

安定した供給は重要な社会的責任であると認識しています。また、安定した供給ができない状況を想定して事前に予防をする、また、そのような状況が生じたときでも早期に復旧することが重要と考えております。

そのために、榎山工業グループは事業継続計画（BCP）とその基本方針を定め、緊急事態に際して業務を適切に実施、継続できるように努めます。

5. 公正・公平な取引、法令順守

社会規範を尊重し法令を順守する会社とお取引を行います。

また、お取引先様の立場と権利を尊重し、健全で公正・公平な取引を行い、相互協力、信頼関係を構築します。

6. 情報セキュリティ

近年、情報についての有用性、重要性が増しており、社会的責任が増してきています。

事業活動上で取り扱う個人情報、企業情報などの情報資産を、漏洩や改ざんなどの脅威から確実に守ることが重要な課題と考えています。したがって、情報は価値を生む資産、企業価値を高める源泉という認識に基づき、榎山

工業グループは、情報資産を保護する「情報セキュリティマネジメント」を実施するために「情報セキュリティポリシー」を策定しています。さらには、社員の情報セキュリティ意識の向上、リスク管理など体制整備を推進しています。

■ お取引先様へのお願い

お取引先様におかれましても、榎山工業グループ CSR 調達方針をご理解いただき、以下のような調達活動を行っていただきますようお願いいたします。

1. 人権、労働安全衛生

法規制を遵守すると共に人権ならびに労働環境および安全衛生を整備する。

サプライチェーンにおける人権ならびに労働安全衛生を考慮する。

2. 環境、グリーン調達

水資源やエネルギーの効率的な使用、CO₂ 排出量の削減、廃棄物削減、汚染防止など環境負荷削減、ならびに生物多様性の保全への取り組みによる環境マネジメントを実施する。

製品含有化学物質管理を行い、法令（基準・規格）に適合した部材を供給する。

グリーン調達については[グリーン調達ガイドライン](#)を参照。

3. 製品安全性

不断に品質の維持向上、研究開発に努める。

4. BCP（事業継続）

災害、事故発生時に重要な業務を中断させず、早期の復旧を図るための BCP（事業継続計画）を作成し、BCP 体制の構築に努める。

お取引様自身のサプライチェーンを把握し、安定供給に向け自主的に BCP に取り組む。

5. 公正・公平な取引、法令順守

法律を適切に理解し、法改正など社会的変化にタイムリーに対応できる体制を構築し、健全な企業経営に努める。

6. 情報セキュリティ

情報管理体制を構築し、第三者への機密情報の漏洩防止に努める。

以上